

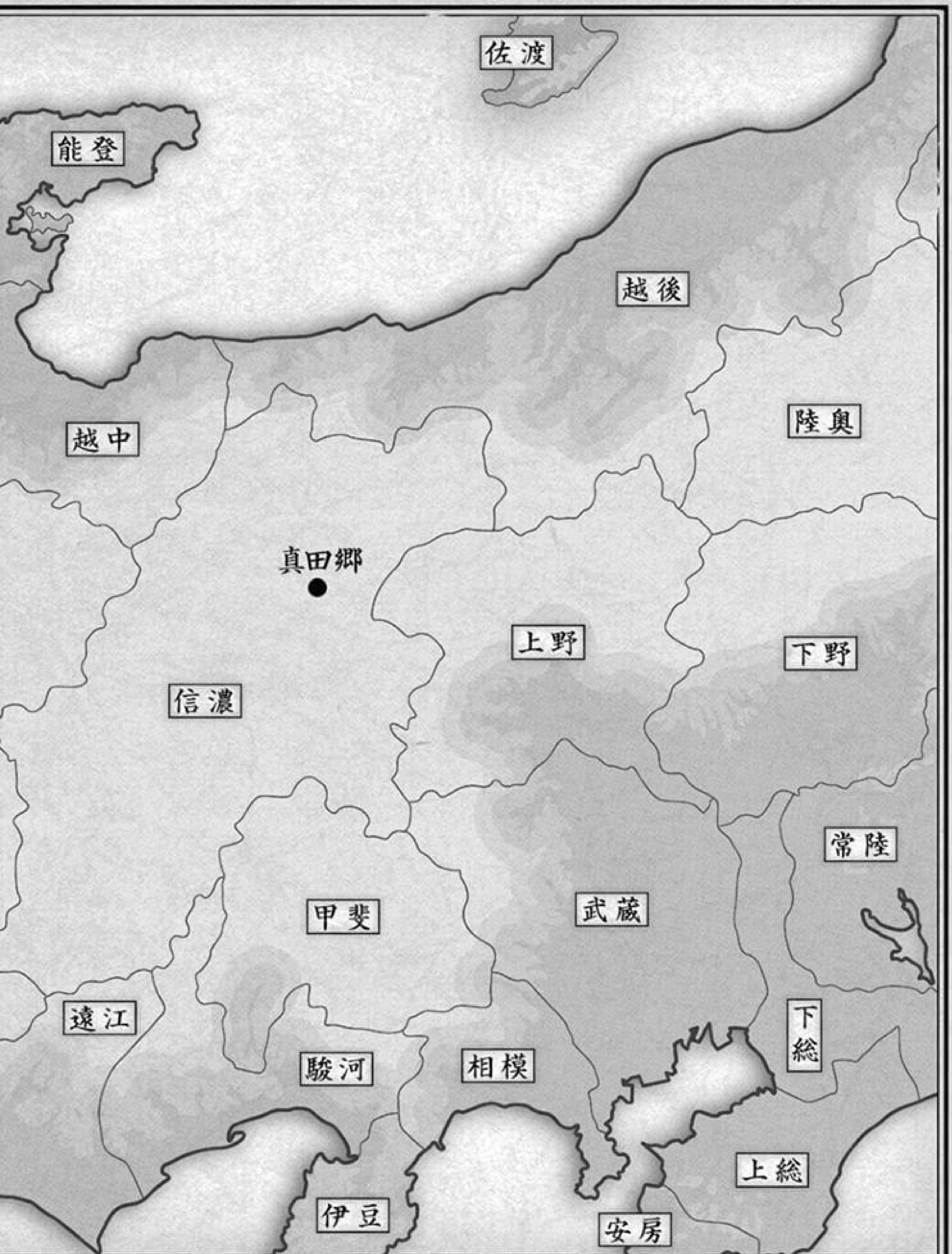
真田魂
さなだだましい
重野なおき
Shigeno Naoki presents
1
JETS COMICS

真田魂

さなだだましい

1

重野なおき


佐渡
能登
越後
越中
陸奥
真田郷
上野
下野
信濃
常陸
甲斐
武蔵
遠江
下総
駿河
相模
上総
伊豆
安房


乱世と呼ばれるほど、
この日本は荒れていた。
統治を担うべき幕府は機能せず、
全国各地に戦国大名と呼ばれる
勢力が出現。
それぞれの領地を懸けた争いが
行われるようになっていった。
時は戦国。戦の時代。
東山に信濃という国があった。
山に囲まれ、南から武田や北条、西から織田や徳川、
北から上杉と、名だたる軍に乗り込まれては
激しい戦が繰り広げられていた。
この時、誰が予想したであろう。
激戦地の中心にある小さな土地を守るため、
三代に渡って命を懸けた一族の戦いを。
そして、その果ての天下を分ける大戦を。
加賀
越前
飛騨
但馬
丹後
若狭
丹波
播磨
美濃
摂津
山城
近江
尾張
河内
伊賀
和泉
三河
大和
伊勢
紀伊
志摩

C O N T E N T S

執念の男


天文十年（一五四一年）
信濃国 真田郷
（現長野県上田市周辺）
ゴオォォォォォ
真田幸隆は
村上・武田・諏訪連合軍に
敗れ 全ての領地を失う
いつか…いつか
必ず我が土地を
取り戻してみせる…
這いつくばってでも…
泥水をすすっても…
草履の裏をなめても…
三べん回って
ワンと鳴いても…
殿…そこまでいくと
カッコ悪いっす…

彼方に消えた


五年後
ワシに武田家に
仕えろと？
武田家臣
山本勘助
絶対仕えん!!
お主ら武田家が
村上家に加担したせいで
ワシは土地を失ったのだぞ
あれは先代
武田信虎様が
やった事
現当主・晴信様（信玄）は
我らに協力して
村上家を倒したら
貴殿に土地を
お返しすると
申しております
よろしく
お願いしまーす!!
土
地
「絶対」
どこ行った!!

待ってられない



智略と懇願



景色いいなあ



作戦は成功し砥石城は陥落
しゃーんなろー!!
真田すげえ!!
その後も武功を立て真田幸隆は再び真田郷周辺の地を手に入れる
山しかない…
本当に山しかない…
もっといい土地もらった方が…
うるさい!! 先祖代々の土地は大事なのだ!!

当時七歳



小領主となった我らは忠誠の証として武田家へ人質を出さねばならぬ…
よいか 武士にとって大事なのは何よりも
「家」と「土地」を守る事だぞ
それを肝に命じて行くがよい
源五郎(後の真田昌幸)
はい!!
これは「家」と「土地」のために命を賭けた一族の物語——



❶ 小さな土地の大いなる一族

脱がせたい



信玄妻・三条の方

わかりやすい山手さん



目と知恵の武将



好みらしい



小さな頃から


ちょうど今 おまえの目について 話してた所だ
なんと!!
目には自信ありますぞ たとえば――
あの木には今 蝿がとまっている
遠くも見えるんだ… すごい
あと芋虫も とまっている
芋虫は駆除しろ すぐにだー
え?
武田信玄は芋虫が 苦手だったといわれる

結論


そうかあなたが… 話には聞いている
は はい 昌幸様と夫婦になるよう 仰せつかりました!!
ジー カシャ ジー
見定めてる すっごく見定めてる!!
うむ 安心した
あなたは 良い人だ

引き合わせ完了



昌幸の夢

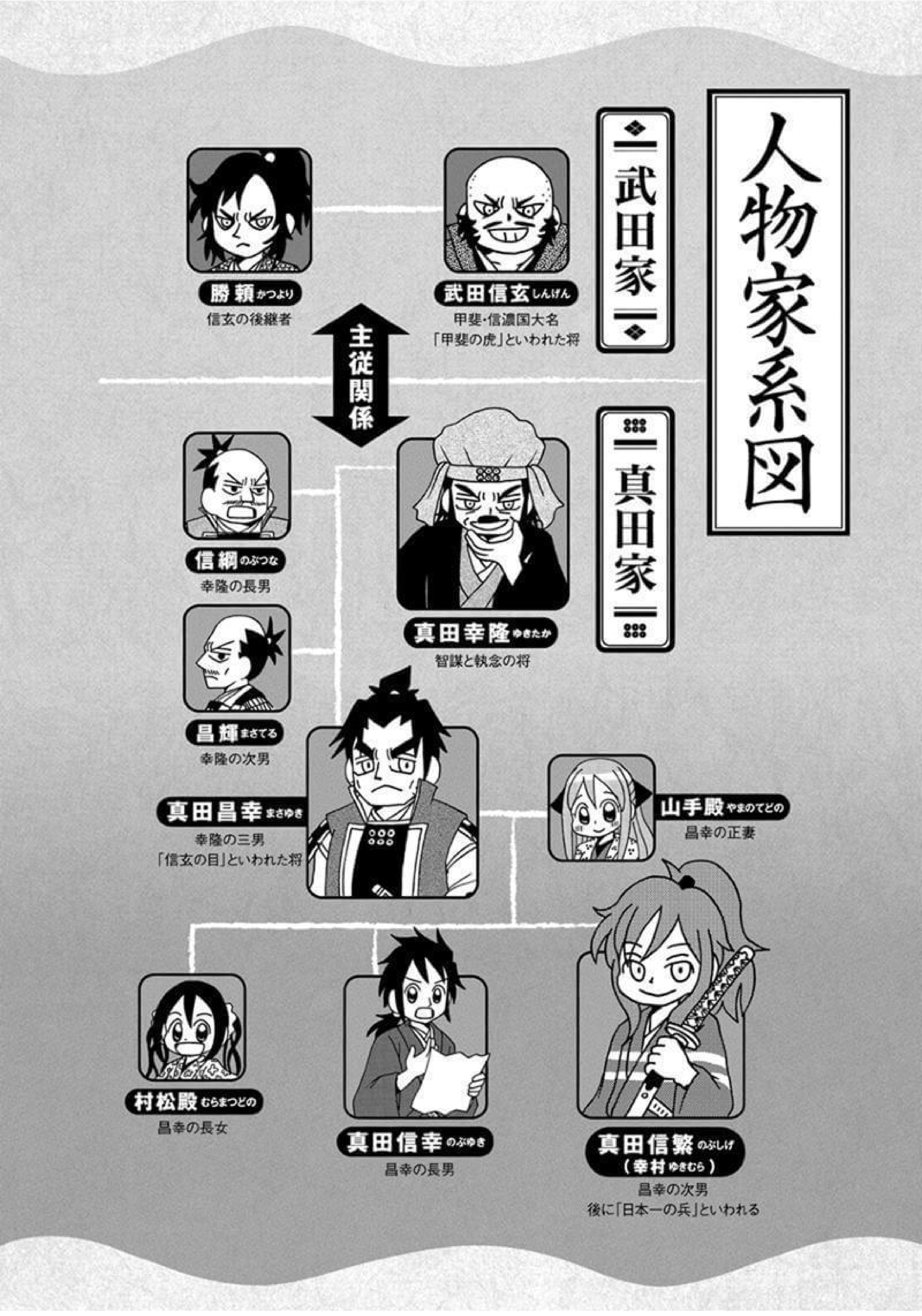


見られちゃ困る


立派な夢だと思います
私にも…その夢のお手伝いをさせてくださいませ
あ もうひとつ
この目をさらに進化させたい!!
たとえば人の毛穴の黒ズミまで見逃さないくらいに!!
そっちは手伝いませんからねー

開幕


夫婦は子宝に恵まれ永禄八年に長女・村松殿
さらに翌年長男・信幸
そしてさらに翌年
三年連続…でかしたぞ!!
後に「日本一の兵」と呼ばれる真田信繁(幸村)を産む
この一族がやがて天下を揺るがす!!


人物家系図
武田家
真田家
勝頼かつより
信玄の後継者
武田信玄しんげん
甲斐・信濃国大名
「甲斐の虎」といわれた将
主従関係
信綱のぶつな
幸隆の長男
真田幸隆ゆきたか
智謀と執念の将
昌輝まさてる
幸隆の次男
真田昌幸まさゆき
幸隆の三男
「信玄の目」といわれた将
山手殿やまのてどの
昌幸の正妻
村松殿むらまつどの
昌幸の長女
真田信幸のぶゆき
昌幸の長男
真田信繁のぶしげ
（幸村ゆきむら）
昌幸の次男
後に「日本一の兵」といわれる


永禄十二年(一五六九年)頃
当主・幸隆と長男次男は
真田郷近辺の守備にあたり
三男・昌幸は家族と共に
甲斐国の信玄の元で
暮らしていた
信濃国
甲斐国
❷まるっとお見通しである!!
早く言いたい
よいか これが
真田家の旗
「六文銭」だ
三歳
四歳
数え五歳
これは三途の川の
渡し賃…つまり
「死を恐れぬ決死の覚悟で
戦う」という意味が
込められているのだ
おかね
たくさんだー
おかねもちー
まだ早いですよ殿

独自の武器



真田昌幸
この時二十二歳にして三人の子持ち
よかった子ども好きな人で…
ドゴッ
危なかった…蜂がいた
だからってゲタって!!
命令を破った家臣にゲタを投げ当てたという逸話が残る

愛と実益



子どもたちは元気に育っているようだな
はい
あの子らがいつか立派な武将に成長してワシを助けてくれる…
そんな日をいやでも期待してしまうな
戦力的にももう何人か欲しいのだが!!
がばっ
しばらく勘弁してください〜
昌幸は側室も含め四男七女を産ませている

今さら心配


永禄十二年十月
父上なら戦に出かけましたよ
だいじょーぶかなあ…
大丈夫ですよ殿は何でも見抜くその目で
「物見」の役を任されるほどですから
「ものみ」ってなに？
えーとー
【物見】
・敵情を視察する人
・死にやすい
全然大丈夫じゃない!!

発見


北条領田島村
ドドドドド
ス……
昌幸はこの時期物見や各部隊の監査役として働いていた
ゆら…
ゆら…
そしてこの北条家との戦でその「目」の力を存分に発揮する

常に探索



謀略家でもある



罠炸裂


武田軍が田島村に突進して来ました!!
バカめ!! かかったな!!
北条家臣 大道寺政繁
地雷火で焼き尽くせ!!
ゴオッ
うわあああ
ぎゃあああ
伏兵もかかれー!!
敵兵およそ三百すべて討ち取りました!!
よし!! 大勝利だ!!
これはこれは
北条家の皆様方!!

同志討ち


拙者は武田家臣真田昌幸!!
我が策にまんまとかかってくれたようで感謝いたす!!
その討ち取った三百名に見覚えはござらんかな?
これは…
武田の捕虜になっていた北条軍の兵!!

もうドバドバ



待てなかった




元亀元年（一五七〇年）
甲斐国 真田屋敷
あ
あ
じーじだ!!
③ 真田を継ぐもの
元気にしてたか孫たちー
おんぶ おんぶ!!
おんぶして
この頃 幸隆は上野国の攻略の任に就き戦果を挙げていた
今や父は武田家の柱石とも言える存在になっているのだ
へー
一度に乗った
あれー？ やっぱ三人はむりー？
柱石ーー

絶対わざとだ



出て来ません



聞きたくなかった



知将から猛将



認めている



みやぶれないの？



刺繍もしちゃった



悪いクセ



三方ヶ原へ



カッコつけたい




④ 命尽きるまで
元亀三年(一五七二年)十月三日 武田信玄は織田・徳川打倒に向け出陣する
おー
おー
しかし
ゴホッ
殿…
心配いらん…ただの咳だ
この頃すでに信玄は重い病に冒されていた
ゴホゴホゴホ
ざわ…
でも手が汚れちまったから温泉で洗ってくる
何かと理由つけて入ろうとしない!!
また出陣遅れますよ!!
愛好家だもの

気をつかえ



おう昌幸!!
これは兄上たち
久しぶりだな!!
同じ武田家臣でもなかなか会わぬものだな
信綱
昌輝
信綱兄上少し太られましたな
わかるか!!さすがの目だな!!
あと鼻毛も出てます
昌輝兄上はその歳でもう若干白髪が
見抜いても言わなくていい事もあるんだからな!!

たぶん後者



して昌幸
その目で殿の病状をどう見る？
あとどのくらいの命なのだ？
…たしかに私は人の死相が見える時があります
しかし殿に関してはわかりません
あるんだ…
殿は温泉に入るたびに寿命がグンと伸びて
しばらく入らないと虫の息になりますから
温泉がすごいのか殿が異質なのか!!

いろんな顔



ずっと先の話



見開いてるから



大苦労人



敵軍よりも？


信玄は徳川方の只来・天方・飯田・各和の四城を続々と落とす
すごい…徳川勢がまるで相手にならない
えいえいおーー
やはり我が殿こそ戦国最強の大名だ!!
この先の林にたくさんの芋虫が!!
進路変更ー!!
なのになぜ芋虫ごときが恐いんだろう…

決戦の地


信玄は二俣城をも落とし家康のいる浜松城に迫る
二俣城
三方ヶ原
ぎゃーー
浜松城
家康は籠城の構えか…
だがワシには策がある!!
たたた…
どうだった昌幸
はっ
殿が目をつけた通りでした
ニヤリ
「三方ヶ原」家康を討つには絶好の場所かと

満点の答え


ワシは浜松城を素通りし家康をおびき出す肚だが…
どうだ? 家康はまんまと城を出ると思うか?
思います
なぜだ? 家康は名将だぞ?
名将だからです
動かなければ家康は家臣の信用を失い他の支城も全て武田の手に落ちる…
武田軍が背を見せるこの一瞬に賭けるしか道は無い
それがわかっているからこそ家康は必ず出陣するのです

刻が少ない


よし 諸将を呼んでくれ軍議を開く
はっ
昌幸… やはり切れ者だ
あいつにワシのすべてを授けたい
ゴホゴホ…
また咳か…
ワシがいなくなった後の武田家のためにもな…


信玄は浜松城を素通りすると見せかけ反転し徳川軍を待ち構える
武田軍
徳川軍
「三方ヶ原の戦い」の始まりである
5 約束された勝利
戦で大事なのは「いかに弓や槍を合わせるか」じゃねぇ…
「いかに有利な場所で戦うか」だぜ!!
はっ
肝に命じておきます
たとえば芋虫と戦う時は水の中!! もしくは鳥を並べるんだ!!
そうでもしないと勝てないのか…
逆に情けない

あと芋虫もういいです



有名な話



いつか決着を


攻撃開始!!
行け!! 小山田投石部隊ー!!
ゴッ
ガッ
うおおおおおお
弓矢? 鉄砲!? しゃらくさい!!
遠距離攻撃は投石こそ至高!!
ふん!! 拙者の下駄投げの方が強力ですぞ!!
変な対抗意識燃やすな!!

心がけだ!!


六文銭は三途の川の渡し賃!!
ドドドドドド
ゆえに真田は死など恐れぬ!! 行くぞ――!!
真田信綱
ヒュンッ!!
うおおっ!! 危ねえー!!
今あきらかに…
うん 死ぬの恐れてたような…
し 死んでいいって事じゃねーんだよ!!

効果減少



拙者は旗に加え――
ズバババッ
真田昌輝
六文の銭を御守り代わりに持ってきましたぞ!!
チャラ
あ
二文落ちた!! どこいった―
殿!! 貧乏人に見えちゃいますよ!!

圧勝



兄上達…さすがの活躍だ
バタバタしつつも…
それでなくても野戦は数の多い方が有利
うわああああ
しかも徳川軍は急な行軍で息も切れ満足な陣形を敷く暇も無かった
ギリッ…
この戦…戦う前から勝負はついていたのだ…
殿!! もうダメです!!
皆が防いでる間にお逃げくだされ!!
徳川軍は武田軍のおよそ10倍の死傷者を出し敗走する

確認しろ!!


徳川家康討ち取ったりー!!
ニヤリ
――と思ったら家康と名乗っていた夏目吉信でした!!
むぅ
さすが徳川家臣…主君の身代わりとなったか
今度こそ!! 徳川家康討ち取ったりー!!
ニヤリ
――と見せかけて家康の軍配を持った鈴木久三郎でした!!
さすがだけど武田軍もせっかちすぎだぞ!!

さらなる強敵


家康は浜松城に逃げこんだもよう!!
チッ…討ちもらしたか!!
どうだ昌幸 このまま浜松城を攻め家康を討ち取るべきか?
城を守る徳川兵五・六千…堅固な石垣造りの城…
力攻めで落とすには我らも万に近い被害を覚悟せねばなりません
…そんな状態で次に待つ織田信長と戦えるのか…?
………

いいぞやって


前線の各将に伝えよ!!
城は攻めずに陣まで退けと!!
ははっ!!
うず
うず
………
昌幸…言いたい事が
あるならハッキリ言え
いえ ただ
チラついてる雪を
パクっと食べたい
なあと…
童心か!!

暗雲


この遠征の標的は
あくまで信長だ…しかし
家康は国力こそ弱いが
名将である事は
間違いない…
パクッ
後々のため無理をしてでも
ここで討ち取った方が
良い気もするが…
ドサッ
殿?
殿!!
おい誰か
医師を呼べ!!

⑥ ひそかな世代交代



元亀四年（一五七三年）四月 甲斐国——
武田軍が…
昌幸様が帰ってくる？
はい!!
武田軍は徳川に連戦連勝!! 半年で8つの城を奪いました!!
あいにく徳川を滅ぼすまでは至りませんでしたが上々の戦果といえるでしょう!!
父上は無事？
ケガしてない？
気になるけど!!
げんちづまとか作ってない？
なに聞いてんの!!

想像の限界


無事ですよ 現地妻も作ってません
殿が帰ってくるのはうれしいですけど…
でも今回の戦は信長を倒すんじゃなかったの?
徳川もほろぼせてないし
何かあったのかなあ…
あの子たちも気になるんですね…
へえ……
信玄さまがおうちに帰りたくなったんだよ!!
そっか!!
わがやが一番だもんね!!
カワイイ結論出ちゃったー

休んで!!


うむ
ザッ…
皆 元気で何よりだ…
あれ…?
父上!! いつもみたくみやげ話聞かせて!!
すまん 話す気になれん…
スタスタ…
じゃ鬼ごっこしよー!!
はー はーー
そっちの方が やめましょう!!

根っこは通常


何でもない 遠征で疲れただけだ 風呂に入って さっぱりしたい…
あ はい すぐ用意します
？
いつもなら 疲れてても…
会いたかったぞ
甘い言葉
ほ・う・よ・う
せっぷん
するのに…
おまえも一緒に入るのだぞ
うわ それですか!!

ホントだ…


殿 やっぱり少し変です 何かあったのですか？
ギクッ
な 何でもないと言ってるだろう
隠し事はおやめください!!
以前より お顔も やつれてますよ？
だったら おまえだって
以前より顔が 丸くなってるぞ!!
すまん……

核心


まさか…先の戦で大事なお仲間を亡くされたとか？
でも殿は仲間の死には慣れてしまってるはず…
じゃあ身内…？でも信綱様も昌輝様も元気だったし…
信玄様が亡くなられたのですか？

なぜ大丈夫だと


ガチャー
すぱあー
そんなはずなかろう
もう無理です!!

ここにもいた


武田信玄は三方ヶ原の戦いの後 病状が悪化し信濃国駒場で無念の死を遂げた
享年53歳であった
殿は死を三年隠せとご遺言なされた
身内にも内緒にすべきと思い黙っていたのだ…すまない
ガサ
わかったよ!!
信玄さま死んじゃったけど三年隠さなきゃダメなんだって!!
わかった!!
みんなにも言ってくる!!

人生の師


それが原因で撤退したのですね…
だが悲しんでもいられぬのだ
一日も早く新当主の勝頼様の元で体制を立て直し
織田・徳川打倒の続きに取りかからねばならない
そう 悲しんでなどいられない…の…だが…
難しいな…
信玄様…あなたに教えてもらいたい事はまだ山ほどありました…

結局話せない


それで殿…新当主の勝頼様というのは…
山手!!
家の中とはいえ国の大事…小声で話すのだ
あ!!
ひそ
どういう御方なのですか?
がばぁ
甘い吐息にムラムラきた
すみませんもう国の大事にかかわりません!!

前途多難


どどん
武田勝頼
勝頼様は四男で一旦他家を継ぐため武田家を離れた身
兄達の相次ぐ不幸により家督を継ぐ事になったが
チラ
いまだ勝頼様が当主となるのを疑問視する者も多い
勝頼様自身もそれを感じ皆に認められようと焦っている
この事が災いとならねばよいが…

7 強すぎる武田勝頼


元亀四年（天正元年）四月
信玄の死を世間に隠したまま
勝頼は武田家当主となる
この勝頼が必ずや
織田・徳川打倒を果たし
あの偉大なる父を
越えてみせる!!
皆 ワシに
ついて来い!!
ははーっ
あと何項目？
よし…声の大きさと
滑舌の良さは越えたぞ…
ブツブツ
こまかい…

元祖怒る



ネタバレの眼力



魔王動く



がんばったのに…



育児も戦い


織田領へ出陣…ですか
うむ 勝頼様は反撃に出るおつもりだ
無事戻ってきてくださいね
心配いらぬ
むしろ子供たちの心配してくれ
いつのまにそんな所に登れるように!!

ただの特技


父上!! たまには武術のけいこをつけてください!!
私たち強くなりたいんです
あたしもだ!!
源三郎… 弁丸… 村松…
もう おまえたちもそんな歳になったのだな…
よし来い!! 鍛えてやろう!!
はい!!
まずは当然ゲタ投げからだ
それ武術?

偉大すぎる父



大勝利の裏



勝頼の型



妻に甘過ぎたる大将




美濃侵攻から帰国して二か月後
次は徳川家の重要拠点高天神城を攻める!!異論はあるか?
8 魂の継承
厄介な側近
どん
ございます!!
ビク
真田…いや武藤昌幸か
スッ…
異論ならこの取次役長坂釣閑斎に申すがよい
三日後 書状で五文字以内でな
聞く気無いだろおまえ…

強制終了


言わせてください!!
美濃で充分な戦果を挙げたばかり!! 今は国を固め 内政に専念すべきと存じます!!
何を言う!! 次は徳川家にワシと新生武田家の強さを知らしめるのだ!!
それにもうすぐ農繁期が!!
その前に城を落とせばよい!!
ごそ…
殿 これを
おお「御旗・楯無」か
高天神城攻めまーす!!
武田家はこの家宝に誓った事は変えられないという伝統がある

さらに上達


くそっ!!
くそっ!!
ガッ
ゴッ
思った以上に勝頼様は強情だ…
それを長坂と跡部が後押ししてしまっている!!
あんなにいら立つ殿は初めて見ました…
ゲタを投げてウサを晴らすんですね…
へ…

死期が近い


天正二年五月三日 勝頼は高天神城へ向け出陣
昌幸もこれに従軍する
真田領 砥石城
そうか… 勝頼様がまた 出陣したか…
お止めせねば!!
父上!!
その体では とても無理です!!

都合のいい…


信綱…おまえはワシの 想像以上に思慮深く 民思いの良き当主だった
だからこそ 言う
武田家と心中するな
真田家を守る事を 第一に考えよ!!
お言葉ですが父上 時代は変わりました
武田家に身を捧げ 一丸となって当たらねば 織田信長には勝てませぬ!!
う〜ゴホゴホ 老い先短いワシの 頼みじゃぞ…?
さっき家を 飛び出そうと してたくせに…

じじばか


ではワシは政務がありますのでこのへんで
待て!! まだ話は終わっとらんぞ!!
たたた・・・
失礼します!! 出陣中の父に代わりおみまいに来ました!!
おおー孫たちよー♡
信綱は行っていいぞ!! 話終わりー!!

早く越えたい


はるばる甲斐から駆けつけてくれたのか…
はやく良くなってね!!
私はまだおじい様に色々教えてもらいたいです!!
うんうん
私も!!
名将といわれるおじい様と戦って勝ってみたいです!!
倒すの?

覚悟の先


いい機会だ 話しておこう…
皆 真田六文銭の意味を知っておるか？
えっと…
「三途の川の渡し賃を持ち死を恐れず戦う」ですよね
そうだ だが死んでいいという事ではない
人は死を恐れぬ覚悟を持って初めて活路を見出せるのだ
どんな逆境でも必ず挽回の策は残されている
よいか 絶対に勝てぬ戦など存在しないのだ

しっかり長男


ぽかん…
あれ
あー少し難しかったかのう
まだ十にも満たなかったな…
いえ だいじょうぶです!!
しっかり紙に記しましたから!!
わからない所はしらべます!!
まじめな子だ… でも苦労しそうだ

天性の次男


私はたぶん兄上よりもわかってません
そうか…
でも要は
だいじなのは
「あきらめないこと」ですよね
そうだ あきらめぬこと
にっ
それが真田魂だ

止まらない


昌輝 後で信綱に伝えてくれ
確かにこれからはおまえたちの時代だ
己の信じた道を進め…とな
天正二年五月十九日
全てを失った後奇跡の復活を遂げた執念の智将・真田幸隆は
静かにこの世を去る
えいえい
おおお
──翌月 武田勝頼は高天神城を落とし ますます勢いに乗る…


本来 勝頼様は諏訪家を継ぐはずだった身…
武田の当主にはふさわしくない
ついて行っていいものか…
そもそも信玄様の才には遠く及ばぬだろう
⑨進むべきか？ 退くべきか？
がばっ
はぁ
はぁ
殿!! どうされましたか!!
いや…何でもない
言っちゃった
悪夢にうなされたなど部下には言えぬ…
じめっ…
あーもう大人なのに
それ寝汗!! 悪夢にうなされたの!!

心配した通り


まだ あの手の夢を見るのか…
殿!!
徳川の援軍として出陣した織田信長ですが
我々が高天神城を落としたと聞き引き返したそうです
おおっ
そうか だが祝杯などあげぬぞ
お……
それより今日を「信長が尻尾を巻いて逃げた日」という記念日にしよう!!
思った以上に浮かれていた…

正論の男


殿が落とした織田・徳川の城はもう二十以上になりますな!!
そ そうだな!!
今や武田家の領土は過去最大ですぞ!!
うむうむ!!
確かに見事です!!
大半は信玄様が拡げたもので殿は追加しただけですが
ぽい
やはりワシはおべっかがヘタだ…

慎重な英雄



そうだ!! ワシは今着々と家臣の信頼を築きつつある!!
もう少しで名実共に武田の当主になれるのだ!!
すた すた
たしかに信長は前回も今回も逃げたように見える…
逆に恐ろしい
あれだけの力を持ちながら確実に勝てる戦しかしたがらないのだ
まともにぶつかるのは信長が勝算ありと見こんだ時…!!

戦利品想像



まだだ…
織田信長
勝頼は信玄と同じく恐るべき男とわかった
今はまだ戦う時ではない
待っていろ…
今に甲州ぶどうも信州りんごも全ておまえから奪ってやる!!
わかる… また甘党ならではの考えをしてる顔だ

優秀な武田忍び



年中警戒



三人で充分!!



「長篠の戦い」へ



勝算あり


岐阜城
武田軍の侵攻に徳川家は風前の灯…
何とぞご援軍を!!
伊勢長島の一向一揆は葬った…
畿内もしばらくは問題無いだろう
堀秀政 鉄砲は?
はっ
油断なく集めました!!
よし 今度は退かぬ
武田勝頼と決戦あるのみ!!

不安が現実に


三河国長篠城を包囲中の勝頼
申し上げます!!
信長率いる援軍がこちらに向かっております!!
その数およそ三万の大軍!!
ざわっ
我が軍は対・徳川が目的の一万五千…分が悪すぎる
ふぅ…
今回の遠征はここらが退き時か…
?
信長自ら来たか
決戦の時だな!!


徳川方の長篠城を囲む
武田軍一万五千に迫る
織田・徳川連合軍は
三万六千——
武田の重臣の多くは
撤退を進言したが
勝頼は聞き入れ
なかったという
織田・徳川軍
武田軍
長篠城
鳶ヶ巣山砦
⑩長篠への道
どんと来い
皆が何と言おうと
ワシは決戦に挑む!!
さすがは殿!!
亡き信玄様は
我らの意見をたくさん
聞いてくれましたのに…
また父上か…
わかった…
父上以上に聞こう
お!!
どうやって勝つ?
はい意見募集!!
決戦しばりー!!

あの!! 信長が!!



見えるんだよな



使ってたのか



さすが魔王？



つい本性が


ばかばかしい…
重臣
馬場信春
佐久間は織田の重臣
寝返るわけないでしょう
これは武田軍を戦場に
引っぱり出そうという
信長の策略
釣閑斎殿は
利用されたのですよ
な 何イ？
この釣閑斎!!
人を利用する事はあっても
される事などない!!
だとしても
イヤな性格!!

譲れない


もういい!!
佐久間の件が偽りだろうが
ワシの決意は変わらん!!
父上の死以来…我らが
もたもたしている間に
織田家は勢力を拡げた
ここで退いたら
さらに大きくなって我らの
前に立ちはだかるぞ!!
今!! 信長も家康も
眼前にいるという好機!!
逃がす手は無い!!
ここで両者を討てば
天下の体勢は我らに傾く!!
今こそ志半ばに倒れた
父・信玄の無念を
晴らす時なのだ!!

過ぎた決意


殿の決意は固い…ならば!!
我らも腹を決め
勝利に向け死力を尽くす事に切り替えるべき!!
皆 納得したようだな…
では御旗・楯無に誓いを立てる
信長と雌雄を決し
負けた時は全員切腹する事を誓いま…
その納得はしてません!!

はいはい


合戦に決まったな…
考えてみれば確かに兵力は劣りますが…
四名臣の馬場・山県・内藤殿や穴山・小山田・小幡・原・土屋・甘利殿…
この名将ぞろいの布陣で大敗する姿は想像できません
………
あと真田信綱・昌輝兄弟もですね
べ 別に期待してたわけじゃないぞ!!

いつもの約束



天下分け目




天正三年（一五七五年）五月二十一日 朝六時
武田軍の前進により長篠の戦いの幕が開ける
うおおおぉ
11 決戦は朝一番
右翼 真田隊
ドドドド
柵の前に田んぼが…やっかいだな
足を取られぬように気をつけろ!!
ドドドドドド
ケロ
危ねえ!! 踏むとこだったー
ずしゃー
避けてる場合ですか兄者!!
馬もすごい

かわいそう


くらえ武田軍!!
鉄砲撃てー!!
ダダダダン!!
竹束防げ!!
ガガガガ
ふふ…武田家考案の竹束に鉄砲など効かぬわ!!
かぐや姫が中にいない事を祈るぜ…
ハラ ハラ
顔に似合わない心配しない兄者!!

流通力の差


ダダダン!!
鉄砲には鉄砲だ!! 撃ち返せ——!!
げっ
武田軍にも鉄砲はあるのか…
しかし鉛の弾が確保できず鉄の弾が多く使われており
どす
飛ばない
弾も火薬も貴重なため充分な練習ができず織田家に比べ技量も劣っていたといわれる
もた もた
やっぱダメだな鉄砲は!!

武田対策



うってつけの場面



せめて耳栓で



乱暴者っぽい



一転


土屋昌次隊も柵を破りました!!
馬場信春隊敵の拠点・丸山を占領しました!!
流れが来た…!!
あの信長に勝てる!! 勝てる!! 勝てるぞおおお!!
申し上げます!!
おう!! 今度は何だ!!
お お味方の鳶ヶ巣山砦から…
煙が!!

認めたくない


鳶ヶ巣山砦は武田軍の背中に位置する
信長は前夜から迂回での奇襲を命じていた
ま…昌幸…
朝飯の煙の可能性は…?
十中八九敵襲です!!

実情


これで我らは退路を断たれた…
だが問題無い!! 元より退くつもりは無いからな!!
真田隊・土屋隊はすでに柵を突破している!!
押し太鼓だ!! 今こそ攻め立てよー
ドーン ドーン
ドーン ドーン
勝頼様に報告に行け…
おそらくわかっておらぬ
柵を破ったはいいが…
真田隊はすでに壊滅状態だとな…

まだ序曲


柵の向こうにまた柵…さらに柵…
しかも奥にまだ多くの兵と鉄砲を潜ませていた…
極めつけにありえないのは
これだけの鉄砲を絶え間無く撃っても尽きない弾と火薬だ…
ダダダダダ
土屋昌次殿お討死!!


うおおおお
午前六時に始まった戦は
鳶ヶ巣山砦陥落後の
午前十一時に本格化する
ダダダダダ
⑫散る六文銭
武田勝頼
織田信長
徳川家康
ワシは戦の前に
誓ったのだ…
もう三方ヶ原のように
すでに出そう
ここが正念場だ!!
各隊踏んばれい!!
脱糞はしないと!!
勝利を
誓ってください!!

こんなのばっかり



西でウワサの



耳を疑う



戦で大事なのは
「いかに有利な場所で戦うか」だぜ
やはり…ここで決戦すべきでは無かったのだ…
まだだ!! まだ「赤備」の山県昌景がいる!! ヤツならきっと…
申し上げます!!
山県様は柵を迂回し徳川軍へ突撃!!
見ろ!! さすが山県だ!!
しかし!!
徳川軍の銃弾を受けあえなくお討死!!

名手がいた？

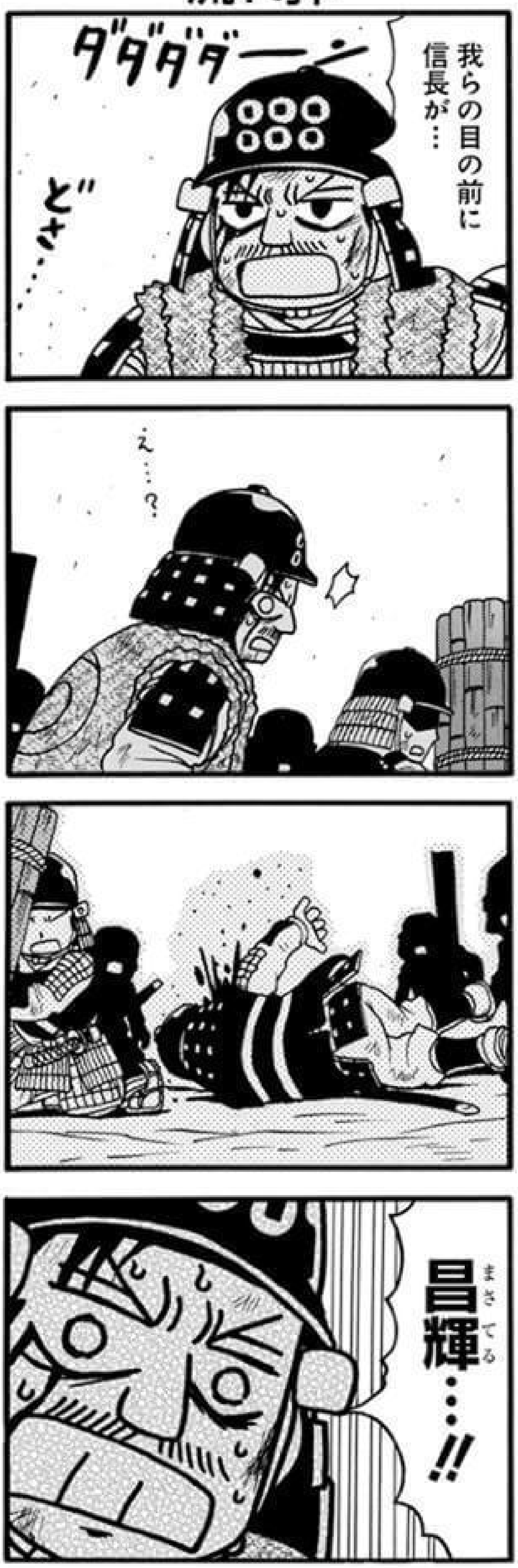


武田四名臣の一人山県殿が…
武田家最強の「赤備」を率いるあの山県殿が…
ものすごく小さい(130センチ台)山県殿が…
銃弾で?
よく当たったなー…

火薬よりも匂う


ダーン
ダダダダーン
他の隊も退き始めている…
真田隊も退かねば…
はぁ はぁ
兄者!! 左前方を見ろ!!
あれは信長本隊だ!!
なにィ? なぜわかる!!
風に乗って甘い匂いが!!
信長はド甘党と報告があったでしょう!!
どうでもいい情報がここで役に立ったー!!

流れ弾


我らの目の前に信長が…
ダダダダーン
どさ…
え…?
昌輝…!!


最後の賭け
ギリッ…
生きていたら…昌輝はこう言ったはずだ…
「たとえ敗色濃厚でも信長の首を取れば武田の勝ちだ」とな
行くぞ!!
示した
死を恐れず最後まであきらめない!!
それこそが真田魂なり!!
ダダダダン。

勝頼知る



兄たちを置いても



その頃の真田家



夫婦兼用





午後二時 武田勝頼
長篠より退却を開始──
甘利信康殿
お討死です!!
原昌胤様
お討死!!
内藤昌豊様
お討死!!
馬場信春様!!
討死
なされました!!
⑬明日への退却
馬も行くな
次々と死んで行く…
兄上たちも…
他の将も…
いや…だ…
もう…
聞きたくない…
殿──!!
この先は崖なので
迂回を──
って耳栓してる!!
うお──い!!

怒り


殿に代わりの馬を!!
退却など…しなければよかった…
そうだ今からでも遅くはない
とって返しワシも武田の名に恥じぬ討死をいたすぞ!!
なにを言っている…
それこそ殿のために散っていった者たちの死が無駄になるではないか…
元はと言えば殿が決戦に踏み切ったせいで兄たちが死んだのだ…
グッ……
殿のせいで…
この殿のせいで!!

誰か紙を


バキッ
釣閑斎殿…ワシを殴ってくれ
な なぜだ
いいから早く!!
わかった!!
ボグッ
は 鼻に行くか普通…
どばばばば
だ だめだったか?

自らに


殿…お気持ちは
わかりますが死ぬ事こそ
楽な道
汚名をかぶってでも
生きねばなりません…
信玄公も数々の
敗戦を経て名将に
なられました
殿も今回の事を教訓に
新しき武田家を
お創りなさいませ!!
それが皆の
願いです!!
辛くても!!
堪えて乗り越えねば
ならぬのです!!
たとえどんなに
大切な者が
死のうとも!!
それが
生き残ってしまった
我々の務めでしょう!!

命題


昌幸…
おまえ…
そうだ
乗り越えろ…
乗り越えるんだ
昌幸!!
そして二度とこんな
悲劇は起こさせない!!
そもそもこの敗戦とて
ワシにもっと殿を
説得できる知恵と信頼が
あれば防げたはずだ!!
ワシはもっと学ぶ!!
もっと力をつける!!
そして武田と
我が一族を守る!!

好敵手と認定



ささやかな反撃



静まる甲府


勝頼は退却中
救援に来た高坂昌信の
軍と合流
高坂は勝頼の装いを
新品と交換し帰国させ
勝頼自身も
留守を守る家臣に
「さほどのことではない」と
手紙を書いている
しかし
その未曾有の大敗は
隠しようがなかった

冒頭参照


何も聞きません
とりあえず今は
お休みください
しかしワシには
聞かせてくれ
この惨状は
何なんだ？
すみません
村松が斧で
切れこみ入れて
メキメキって…



⑭「真田」昌幸誕生
長篠の戦いの敗戦後——
勝頼は戦後処理と織田・徳川への対応に明け暮れる
当主のすべき事ではあるが…
長坂釣閑斎
これ以上 殿に負担をかけさせては体がもたぬ
取次役のワシが何とかせねば…
奸臣誕生
殿は今お忙しいのだ!!
こんな訴えは取り次げぬ!!
ビリィ
ワシがますます嫌われるようになった…
こいつ意外といい奴なのか?

蹴落とさないと



がまんしたのに



昌幸の道


生前 父は「真田と武田は協力関係であり主従関係ではない」と言い
兄上たちはそれを否定していたが…
真田家当主として
ワシはどっちの道を歩む？
ふ……
答えは決まっていたな
ワシは信玄様に多くの事を学んだ…今度は全力で勝頼様を支え恩を返す番なのだ

イヤな策士


そうか明日領地に向かうか
はっ
必要とあらばすぐに駆けつけます
さびしくなりますなあ…
じー
本心ですかな？
がんばれよー
もちろん!! それが証拠に明日有志百人で盛大に船出を見送りますぞ!!
やさしさに見えて気軽に帰りづらくしている!!

気にしてるのに



その後 作る



滝に打たれるとか



おまえは武士



宣言しなくても



連携も不可能に





長篠の戦いから
五年後の天正八年
敵対する上野国の
北条家沼田城を
包囲中の昌幸――
ザッ
ザッ…
⑮それぞれの成長
むん!!
ビュッ
今だ!!
門を開けろー
わー
裏切り者だー
我らは真田昌幸殿に
お味方いたす!!
矢でいいのに
ヒュー
カラン
カラン
我が軍が攻め寄せたら
寝返るように調略済みだ
合図が
下駄って…

だまされない



分断されそう



関東の雄



という逸話あり



当主の威厳



甲斐国躑躅ケ崎館
昌幸!!
沼田城攻略
大儀であった!!
どん
はっ!!
勝頼様…この五年で
頼もしくなられた…
調子に乗るでないぞ!!
たまたま敵が軟弱だった
だけの事!!
こいつは
変わらんなあ…
キッ
釣閑斎!!
昌幸と話しているのだ!!
本当に
頼もしい…

大改革



しかし釣閑斎殿の
言う事も一部事実
殿が南を防いで
いてくれてる
おかげです
………
昌幸の活躍により
上野方面では領土を
増やした武田家だが
駿河・遠江方面では
徳川・北条に押され
苦しい状況にあった
この現状を打開すべく
考えた大きな計画が
あるのだ
ほう
それは?
甲斐国
本拠をこの
躑躅ケ崎館から
西の韮崎へ
移す!!

※気絶します



死しても温泉好き



あるまじき発言



甲府 真田屋敷
父上!!
父ちゃん久しぶり!!
信幸 また背が伸びたな
私ももう15歳ですからね
元服もしましたし
村松も器量良しに育ってくれた
へへー
そろそろ嫁ぎ先も考えないとですねぇ
何を言ってる 嫁にはやらんぞ!!
武家の当主がそれ言っちゃダメです!!

規格外



あなたの「目」から見て信幸の器はどうですか?
生来の真面目さも手伝って文武を備えた男になりつつある
将来 立派に真田家を背負って行けそうだ
真田郷にいる弁丸はどうですか? 私はしばらく会えてませんけど…
あいつは… ワシの目にも測り知れぬ
山手はとんでもない怪物を産んでしまったのかもしれないぞ?


⑯ 堅実な長男 奔放な次男
真田郷北部
角間渓谷——
ばっ…
たたた…
真田弁丸（14歳）
弁丸様
待ってくださいよー
え—っ
素直
忍びが修行に使う
この険しい渓谷を
こんなに自由に走り回る
なんて…
はぁ
はぁ
真田忍び
佐助
わかったよー
アニ？
そんな所で
待たないでください!!

弱いの？


へーこれが熊かぁ 初めて見た
ブォーブォー
でかいし 速いーー
なっと!!
ゴ
ズウゥゥン…
もー!!
何を考えてんですか 熊と戦うなんて!!
そうだね 弱い者いじめは武士のやる事じゃないね
じゃなくて!! 危ないでしょー

山賊攻める!!


弁丸様!! 河越合戦の記録を入手しましたぞ!!
おおー 見る見る!!
へー!! こんなに夜襲があるんだ!!
北条氏康すごいなー
帰るなりすぐ戦略の勉強か…
ふえー…
ホー
ホー
ばん!!
佐助ーー!! 夜襲の訓練しに行こー!!
いいかげん休みましょうよ!!

何おとぼけを



危うい天才



真田に凡将無し



まだ無名



乱世だし



弁丸はこの頃元服し真田源次郎信繁と名乗る
立派になって…
「幸」の字は嫡男ゆえに信幸に与えたが…
おまえの「信繁」は信玄公の弟君武田信繁様からいただいた
おまえも信繁様のように兄を支えるのだぞ
はいっ!!
でも兄上が死んだり絶縁したら「幸」の字くださいね!!
不吉な事言うなよ!!

先にやっとけ



躑躅ヶ崎館
ざわっ
殿…正気ですか？
本拠を韮崎へ移す？
躑躅ヶ崎館を捨てて？
そうだ
織田・徳川・北条に対抗するにはこれしかない…
まだ床張り替えれば使えますぞ!!
雨漏りだって直します!!
老朽化の問題ではない!!

重要な欠点


——以上のように韮崎に移る事こそ武田家繁栄への道なのです
く…
だとしてもこの伝統ある躑躅ヶ崎を捨てるなど…
跡部!! もうそんな事を言ってられる状況ではないのだ!!
胡麻すりではないぞ!! 武田家は変わらねばならんのだ!!
釣閑斎…
そうだ 奴は決して無能な訳ではないのだ…
自分の出世と他人を蹴落とす事ばかり考えてるのを除けば…
いやそこ除いちゃだめだ!!

不信再燃


皆 納得してくれたようだな…
城の普請奉行は昌幸!! おまえに任せたぞ!!
ははっ!!
ぞろ
ぞろ…
人手…資金…家臣に多大な負担がかかる…
信長のやり方を真似てるだけではないか…
移転せねばならぬほど武田は衰えたともいえる…
戦略的に見れば確実に上策と言える韮崎への本拠移転
しかしここから逆に武田家の土台は揺らぎ始める



⑰ 武田家の始まりと終わり
天正九年（一五八一年）昌幸の監督の下韮崎に「新府城」の建設が進められる
父から受け継いだ築城技術を活かす時が来た!!
最高の城にしてみせるぞ!!
だいぶ進みましたね父上
うむ
高低差129メートル
私にも何かお手伝いできる事はありませんか?
では城の西側へ行こう
断崖から攻められないか登ってみてくれ
息子づかい荒すぎませんか父上!!

実践の男



とても登れぬか…西側から攻められる心配なし…と
ですよー
たたたた
たたた
たーん
父上やばいですよ!! 簡単に攻められちゃいますよ!!
信繁ーおまえを基準には考えぬぞー

継がれる戦法



ここが武田の城ならではの備え「丸馬出」ですね
城門をぐるりと囲み破られにくいようになっているのだ
これもっと大きくして軍勢を配置すれば攻撃にも転じやすいですね
ははは
面白いな
だがそれはありえないくらい巨大な城でないと無用の長物だぞ
そっかー
後の大坂城の「真田丸」はこの「丸馬出」が元になっている

当主も人間



おう昌幸!!
変わりないか!!
これは勝頼様!!
ははーっ
二人で何を話しておられるのだろう…
きっと高度な政治情勢の話ですよ!!
また妻の気持ちがわからず怒らせてしまってなー
大変ですね 18も下の奥方を持つと
北条夫人(18歳)

方針の違い



防備に優れ城下も発展する良き城ができそうです
さすが殿がお選びになった土地なだけある
殿は築城に関しては
ゆうに父・信玄公を越えておりますぞ!!
それはうれしくない 父上あまり城を作った事無いじゃん
ああ「人は城 人は石垣 人は堀」の御方ですもんね

理解できない



オッサンは別にいい



どちらも大事



上には上が



崩壊の序曲


武将達の家族も続々と新府城に引っ越す
わあっ
立派なお城ですね!!
そうだ武田家と真田家はここから新たな一歩を踏み出すのだ
——しかし
新府城完成よりおよそ五か月後
がんばりましょうね
うむ…
木曾谷領主木曾義昌が織田家に寝返りました!!

魔王動く


な…
我が妹婿である木曾義昌が…?
木曾谷は武田領の玄関口!!
ここが寝返ったら織田軍が易々と侵入してしまうぞ!!
息子・信忠は木曾谷から
飛騨から金森長近
盟友・家康は駿河へ
北条氏政も駿河だ
四方面同時に武田領へ侵攻せよ
今こそ武田を滅ぼす時!!


木曾義昌が謀反し織田軍が武田領に侵攻を開始した数日後――
武田領内にある浅間山が噴火する
18 怒濤の「甲州崩れ」
かねてより噴火は不吉の前兆とされ
状況と相まって武田家臣に最悪の結末が頭をよぎった
不吉解消
出陣直後に噴火するなんて…嫌な予感がします
何を言われますか母上!! 武田軍は最強ですぞ!!
ですよね 火山の噴火くらいすぐに止めちゃいますよね
いやー天変地異には無力かと!!

※叶いません


織田軍先鋒
織田信忠(信長の嫡男)軍
今こそ武田を滅ぼす時だー
おー
複雑だろうな信忠様…
元婚約者の家だもんな…
信忠は十年ほど前勝頼の妹・松姫の婚約者で文通もしていたが
両家の関係悪化により破談になっていた
滅ぼした後松姫を私の妻にする!!
あきらめてないの?

観光客か


諏訪上原
勝頼本陣
なんか燃えてる織田信忠軍にお味方敗退!!
なんかってなんだ…
これでは木曽義昌を討つどころの話ではない!!
武田家の…存亡の危機だ!!
ワシが織田軍を足止めしてみせる!!
これで!!
この先
噴火区域
立入禁止
止まったらいいなあ!!

細目じゃダメか？



止まらない



言いたいんだ



初めての事



火山大活躍


戦況はきわめて悪い
信濃の高遠城が落とされれば武田はほぼ終わりだ
この新府城では守れませんか?
この城はまだ未完成…とても無理だ
いや!!策はあるよ!!
これで織田軍を火山の火口に誘導して突き落とす!!
こっちの山
近道
おまえの発想は釣閑斎並か!!

信忠覚醒


この時 信長はまだ近江国安土城にいた
信忠め…急ぎすぎる!!
武田を侮ってはならぬ!!ワシが行くまで待てと伝えよ!!
ははっ!!
しかし信忠は忠告を聞かず堅城高遠城に攻めかかり
自ら柵を破り塀をよじ登り
味方もビックリ高遠城を一日で落としてしまう
うおー!
だから言わんこっちゃ…
ええー?

偉大すぎた



今こそ恩返し




⑲主従の別れ道
では拙者は一足先に岩櫃城へ行き殿を迎える準備をします
頼んだぞ ワシも明日にはここを発つ
素直に受け取れ!!
釣閑斎!!
真田…待て
岩櫃城なら防げる…本気でそう思っているのか?
知恵者のおまえなら考えればわかるはず…
無理だ!!
お主がワシを知恵者と褒めるなんて…
なんかウラが…
そんな所は考えなくていい!!

認め合う仲



畳は無いだろ



子は知らず



負けられない



「生きろ」


釣閑斎…
お主はどう思う
岩櫃城か？
岩殿城か？
…正直ワシの見立てでは
どちらでも結果は同じ
その地は織田連合軍に
蹂躙され城は落とされる
ならば…
この時 釣閑斎は
進言する
真田家は武田家に仕えて
まだ二代の新参
古くからの家臣
小山田殿の岩殿城へ
移るがよろしいかと

代々の地


岩殿城か…
…はっ
実はワシもそう
思い直していた
女房衆を連れて
逃げるには岩櫃城は
道のりが遠く険しすぎる
それに…
足掻いた末に
それでも最期を
迎えてしまうとしたら
やはり父祖伝来の
この甲斐国にしたいのだ

無理難題



翌朝
ええっ?
岩櫃ではなく…
岩殿へ?
まぎらわしいな この二つ!!
そうだ 真田の人質は お役御免とする
お主らは 家族を率いて昌幸の 元へ向かえ
昌幸に 伝えてくれ
お主の忠義 嬉しかったと…
そして済まぬと
我らだけで?
母上たちを 連れて?
道中野盗や 織田軍いるのに??
それどころじゃ なさそうだな…

なぜ三節棍が



真田の者だけで 岩櫃城へ…?
事は一刻を争います!! すぐに出発しましょう!!
敵が出たら 私も戦うよ!!
さすが姉上!!
スコーン
わ 私だって!!
使えもしない武器 持ち出さないで母上!!

恋は盲目



存亡の駆け引きへ



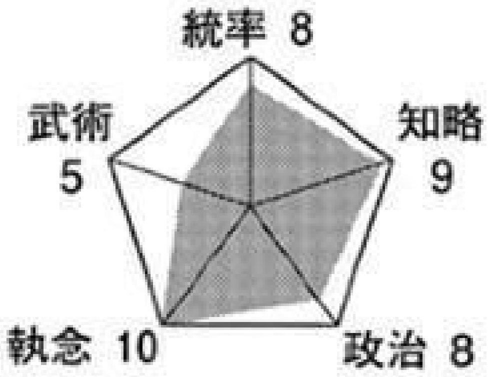
［第２巻に続く］



真田家の人物は皆 魅力的ですが
不明・諸説ある点が多くて
物語作る時 若干 苦労します

重野なおき

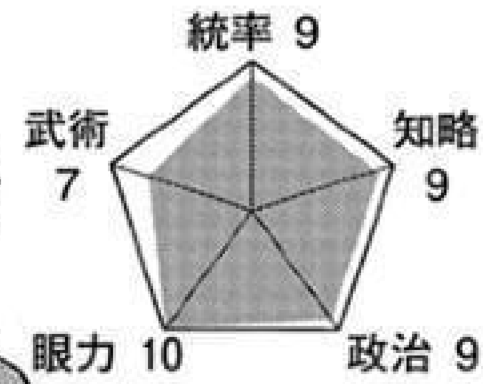
戦国武将名鑑①



真田幸隆（幸綱）

信濃国小県郡真田郷領主
一度所領を失うが
信玄の元で返り咲く

真田昌幸





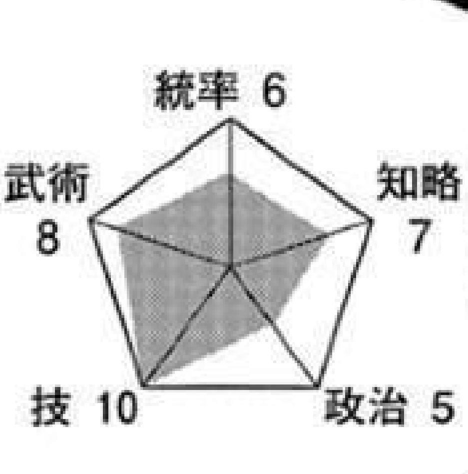
幸隆の三男
信玄に「我が目」と称され
様々な事象を見抜く

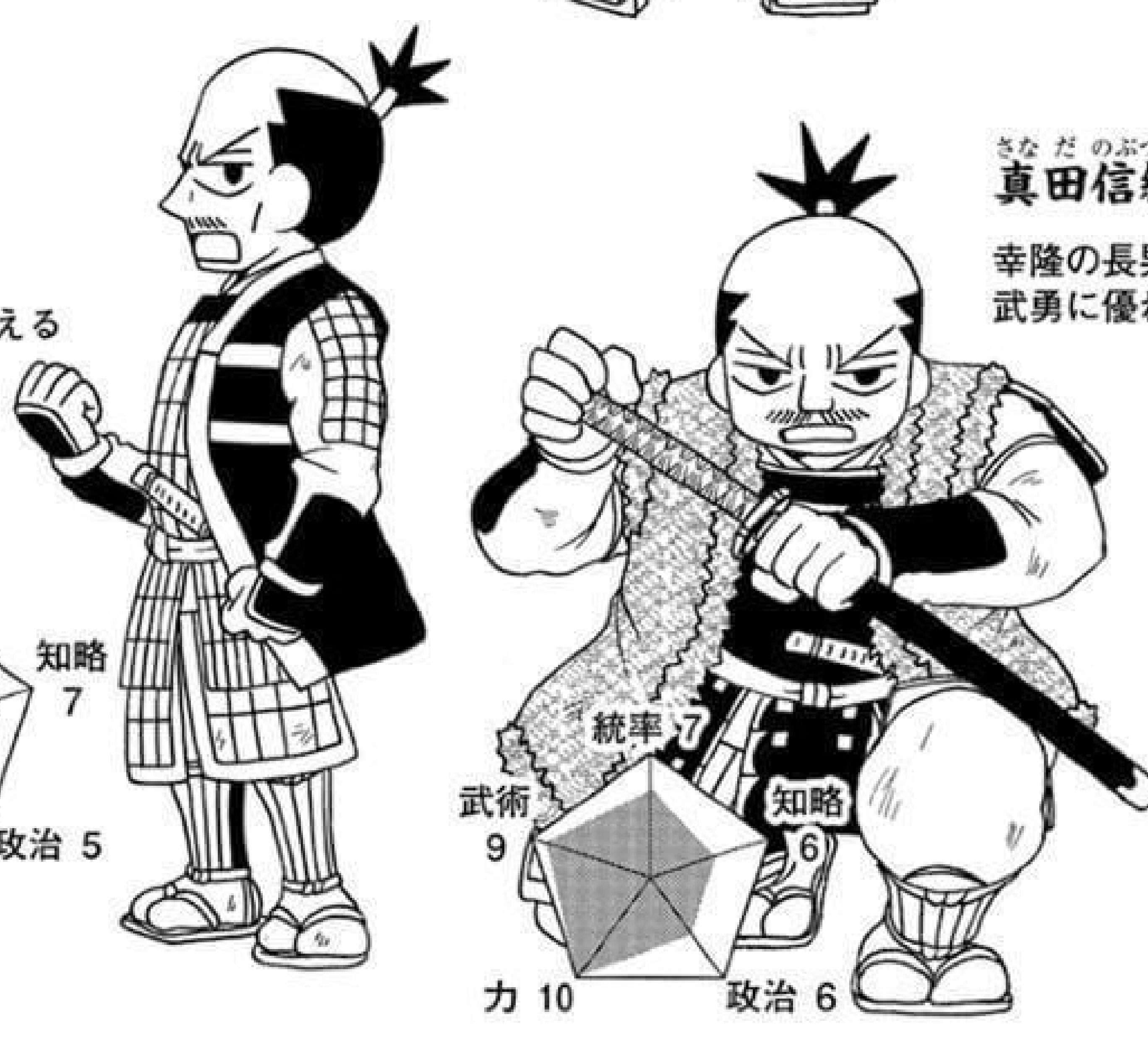
真田昌輝

幸隆の次男
戦場で兄を支える

真田信綱

幸隆の長男
武勇に優れる





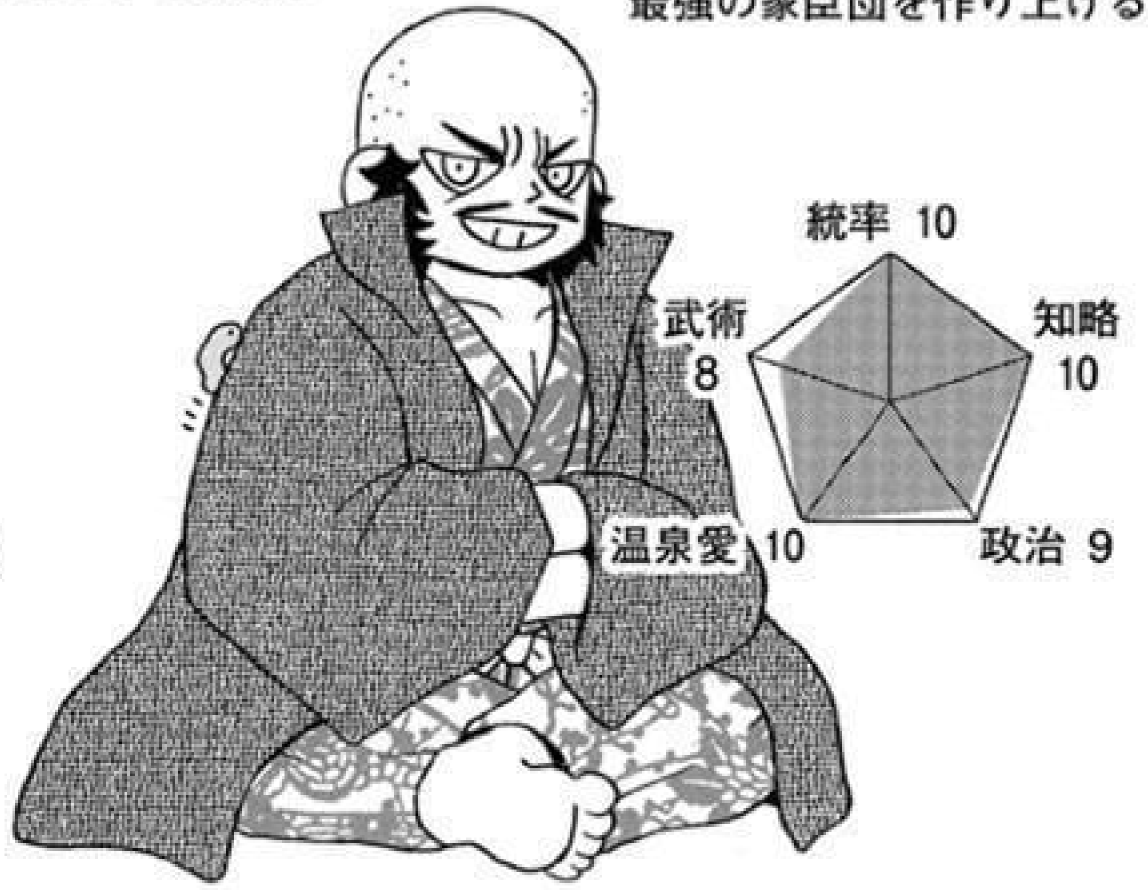
武田勝頼（たけだかつより）

信玄の四男にして後継者
父を越える事を目指す



武田信玄（たけだしんげん）

甲斐・信濃・駿河国大名
最強の家臣団を作り上げる



小山田信茂（おやまだのぶしげ）

武田家臣
投石部隊を率いる



長坂釣閑斎（ながさかちょうかんさい）

武田家臣
勝頼の側近として
辣腕（らつわん）をふるう



●初出一覧

「ヤングアニマルDensi」
2015年１月30日公開・２月20日公開・３月20日公開・５月１日公開・６月５日公開
７月３日公開・７月31日公開・８月７日公開・９月４日公開・10月９日公開
10月30日公開・11月13日公開・12月11日公開
2016年１月８日公開・１月29日公開・２月19日公開・３月11日公開・３月25日公開
４月15日公開

を再編集の上、収録いたしました。

JETS COMICS

真田魂①

デジタル版

著者	重野なおき (C)Naoki Shigeno 2016
発行者	菅原弘文
発行所	株式会社 白泉社
発行日	2016年4月1日